

# 福島経済マンスリー

2月の県内経済は、一部に持ち直しの兆しが窺えるが、全体では引き続き厳しい状況にあり、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響も懸念される。

## 1. 2022年2月の県内経済

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、消費動向の一部が前年を上回るなど持ち直しの兆しが窺えるが、公共投資や住宅投資が前年割れするなど、全体では引き続き厳しい状況にあり、新型コロナウイルス感染症再拡大による影響が懸念される。なお、足元では、円安やウクライナ情勢の悪化を背景に、原油などの資源および食料品の価格高騰が県内経済に影響を及ぼし始めているものとみられる。	→	☁️/☔️
消費動向	乗用車販売台数が半導体不足と新型コロナウイルス感染症による生産調整などから前年を下回ったのに加え、コンビニエンスストア販売額も前年割れした。一方、大型小売店およびドラッグストア販売額は前年を上回った。	→	☁️
公共投資	公共投資は、中間貯蔵施設関連の復興工事が一段落し、前年比で減少したことなどから、請負金額が11カ月連続で前年を下回っている。	→	☔️
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が2カ月連続、床面積が5カ月ぶり、工事費予定額が3カ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。	→	☁️/☔️
住宅投資	新設住宅着工戸数は、新型コロナウイルス感染症の再拡大などから、8カ月ぶりに前年を下回った。内訳をみると、分譲が前年を上回ったものの、持家と貸家は前年を下回った。	↘	☔️
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整値が86.5で前月比△1.3%、原数値が81.5で前年比△2.0%となった。業種別の季節調整値を前月比でみると、「化学工業」など9業種で上昇したものの、「印刷業」など10業種で下降した。	→	☁️
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が1.41倍と前月を0.03ポイント上回ったが、新規求人倍率は、季節調整値が1.94倍と前月を0.16ポイント下回った。雇用保険受給者実人員は前年比△3.4%となった。	→	☁️

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（↗：改善、→：不変、↘：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は1月データ。

〈天気図（水準）の意味〉				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
← 良 い			悪 い →	

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2021年9月	10 月	11 月	12 月	2022年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	1.7	2.4	0.5	0.6	1.6	1.7
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 1.4	△ 1.9	△ 2.5	△ 0.1	1.0	△ 2.9
	ドラッグストア販売額（全店舗）	4.8	6.0	4.3	5.3	4.2	7.9
	乗用車販売台数	△ 19.3	△ 18.5	△ 5.8	△ 8.2	△ 9.0	△ 12.8
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 65.8	△ 73.1	△ 69.5	△ 36.8	△ 77.6	△ 76.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 56.0	△ 7.9	△ 26.5	11.5	93.2	△ 13.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	1.2	2.6	0.9	1.1	41.3	△ 19.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	6.1	△ 2.5	3.8	2.0	△ 2.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.15	0.13	0.13	0.17	0.18	0.17
	雇用保険受給者実人員	△ 18.8	△ 19.2	△ 14.0	△ 11.1	△ 5.5	△ 3.4

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2021年9月	10 月	11 月	12 月	2022年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 8.4	3.2	△ 1.8	27.4	△ 17.2	△ 9.1
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 3.6	△ 1.8	△ 2.9	9.7	△ 8.4	△ 8.4
	ドラッグストア販売額（全店舗）	△ 6.5	△ 4.1	△ 0.2	2.7	1.7	△ 3.5
	乗用車販売台数	9.6	△ 2.5	5.0	△ 6.0	△ 5.8	9.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	17.0	△ 19.6	△ 25.3	△ 23.9	△ 29.7	△ 25.2
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	12.2	7.0	△ 34.5	184.1	31.2	△ 57.1
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 21.2	18.5	△ 14.2	8.7	△ 4.1	△ 13.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.1	△ 2.1	3.1	△ 2.9	△ 1.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.02	△ 0.02	0.02	0.04	0.03	0.03
	雇用保険受給者実人員	△ 5.9	△ 5.4	△ 5.6	1.1	△ 2.3	△ 6.0

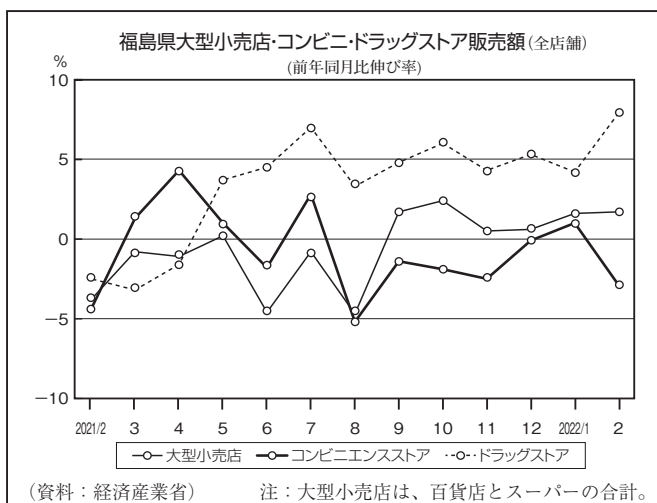
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

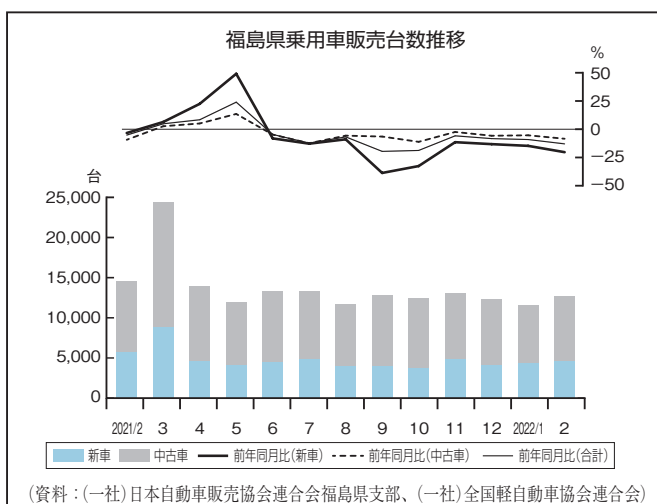
#### 大型小売店およびドラッグストアが前年比増、コンビニが前年比減

2月の県内大型小売店の販売額は213億80百万円（前年同月比+1.7%）と6カ月連続、ドラッグストア販売額は90億77万円（同+7.9%）と10カ月連続でそれぞれ前年を上回った。一方、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は149億89百万円（同△2.9%）と前年を下回った。なお、大型小売店、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は454億46百万円（同+1.2%）と前年を上回った。



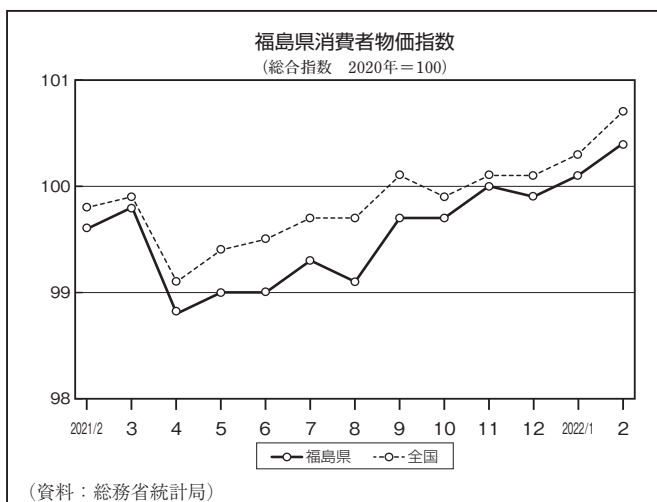
#### 乗用車販売：9カ月連続で前年比減

2月の乗用車販売台数をみると、新車が4,523台（前年同月比△20.0%）、中古車が8,180台（同△8.3%）、合計が12,703台（同△12.8%）となり、いずれも9カ月連続で前年を下回った。新車の前年割れは、半導体不足に加え、新型コロナウイルス感染症により東南アジアで自動車部品の生産が滞っていることによる減産が続いているためとみられる。



#### 消費者物価指数：前月比、前年比とも上昇

2月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が100.4で前月比+0.2%、前年同月比+0.8%。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の111.4（前月比+1.6%）など5費目で上昇、「交通通信」の92.2（同△0.2%）など3費目で下降。

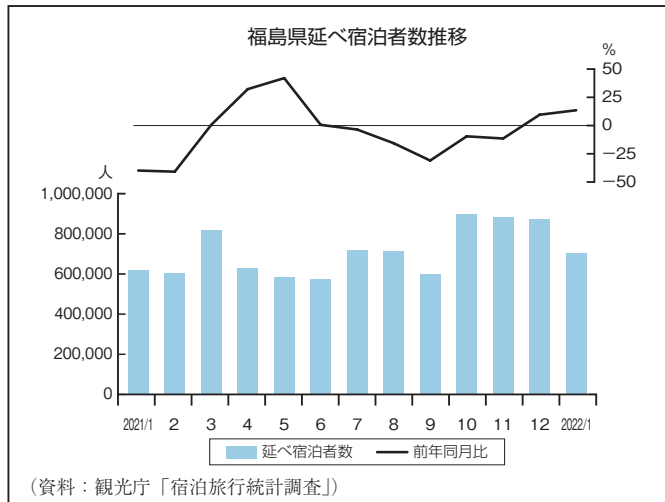


観光

※延べ宿泊者数は1月データ

延べ宿泊者数：2カ月連続で前年比増

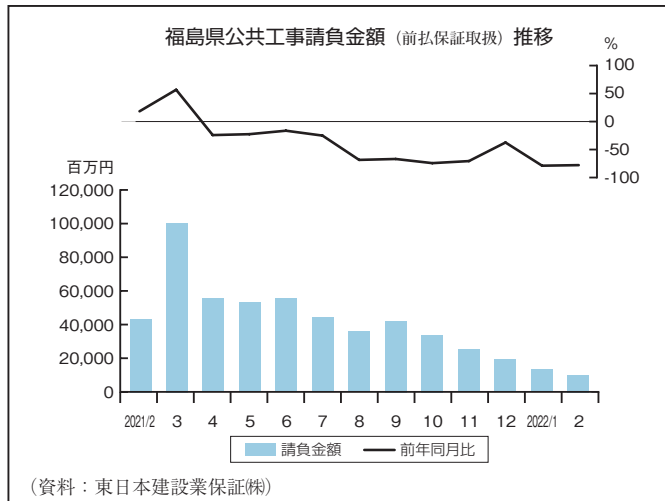
1月の延べ宿泊者数は、701,320人（前年同月比+13.3%）と、2カ月連続で前年を上回ったものの、引き続き低い水準にとどまっている。



公共投資

公共工事：請負金額は11カ月連続で前年比減

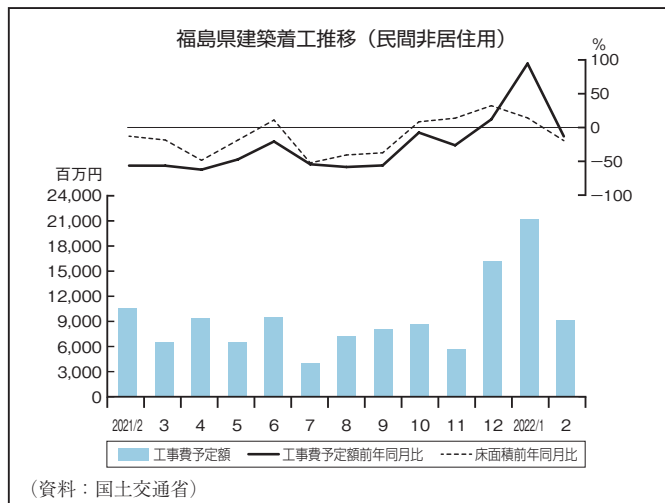
2月の公共工事前払保証取扱は、件数が183件（前年同月比△25.0%）、請負金額が102億53百万円（同△76.6%）、保証金額が42億83百万円（同△80.7%）。公共投資は、中間貯蔵施設関連の復興工事が一段落し、前年比で減少したことなどから、請負金額が前年を下回っている。



設備投資

設備投資：工事費予定額は3カ月ぶりに前年比減

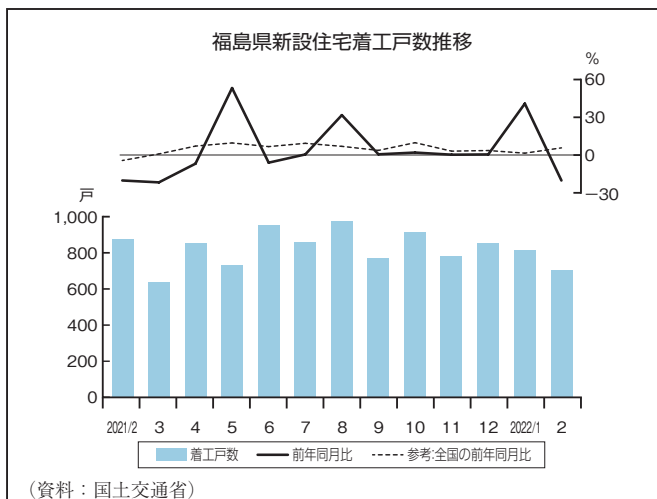
2月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が115棟（前年同月比△36.5%）と2カ月連続、床面積が48,546㎡（同△19.7%）と5カ月ぶり、工事費予定額が91億5百万円（同△13.4%）と3カ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。



## 住宅投資

### 住宅建設：着工戸数は8カ月ぶりに前年比減

2月の県内新設住宅着工戸数は706戸（前年同月比△19.5%）と、新型コロナウイルス感染症の再拡大などから、8カ月ぶりに前年を下回った。主な利用関係別にみると、「分譲」が189戸（同+11.2%）と前年を上回ったものの、「持家」が334戸（同△19.1%）、「貸家」が183戸（同△33.9%）と前年を下回った。

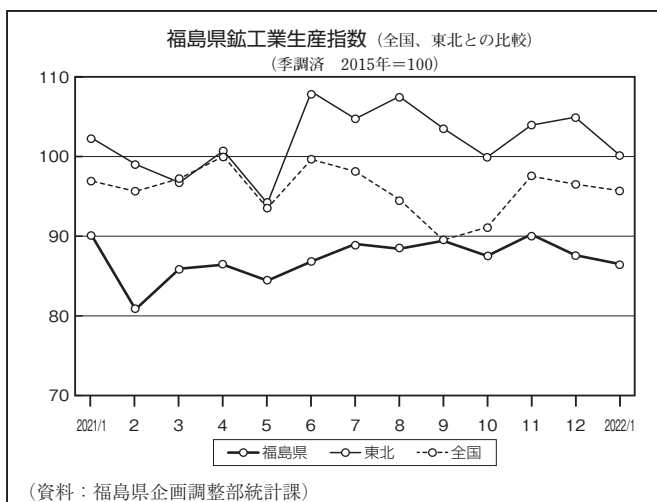


## 生産活動

※鉱工業生産指数は1月データ

### 鉱工業生産指数：前月比、前年比とも下降

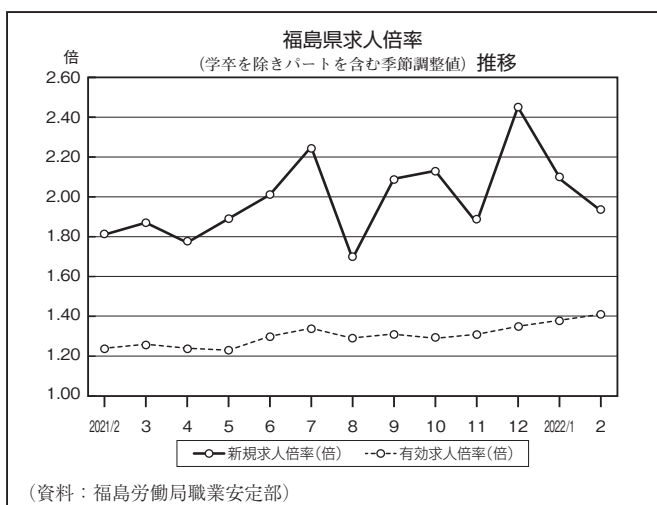
1月の鉱工業生産指数は、季節調整値が86.5（前月比△1.3%）、原数値が81.5（前年同月比△2.0%）。業種別の季節調整値をみると、「化学工業」（前月比+9.8%）など9業種で上昇したものの、「印刷業」（同△40.0%）など10業種で下降した。



## 雇用動向

### 雇用動向：有効求人倍率は前月比、前年比とも上昇

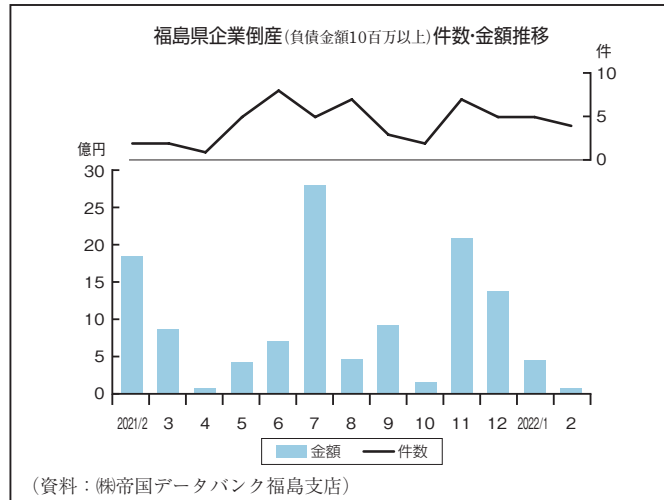
2月の新規求人倍率は、季節調整値が1.94倍（前月比△0.16ポイント）、原数値が1.94倍（前年同月比+0.12ポイント）、有効求人倍率は、季節調整値が1.41倍（前月比+0.03ポイント）、原数値が1.47倍（前年同月比+0.17ポイント）。1月の雇用保険受給者実人員は5,681人（前年同月比△3.4%）。



企業倒産

企業倒産：件数は前年比増、負債総額は前年比減

2月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が4件（前年同月比+100.0%）、負債総額が76百万円（同△95.9%）。業種別で見ると、サービス業が2件、製造業、卸売業が各1件。主因別で見ると、販売不振が3件、放漫経営が1件。

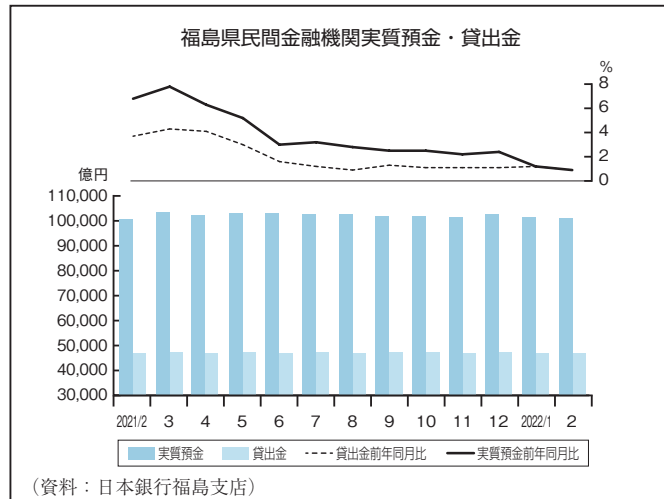


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の2月末の実質預金残高は、10兆1,395億円（前年同月比+0.9%）と2年9カ月連続で前年比増加。また、貸出金残高は、4兆7,017億円（同+0.9%）と8年9カ月連続で前年比増加。

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

2月の保証承諾は、件数が711件（前年同月比△58.7%）、保証金額が116億56百万円（同△57.2%）。2月末日現在の保証債務残高は、件数42,690件（同+5.0%）、金額5,635億6百万円（同+8.5%）。一方、2月中の代位弁済は、件数が36件（同+300.0%）、金額が4億15百万円（同+1,371.9%）。

